

## 委員会の審議結果（要旨）

### 1. 平成22年シーズン調査結果

#### 【審議結果】

- ・平成22年シーズン工事の配慮対象となるクマタカ5つがい、オオタカ1つがいについてモニタリング調査した結果、工事による影響は確認されませんでした。今後も引き続き、希少猛禽類の生息環境に配慮しながら工事を進めて行く必要があります。

内容については、以下のとおりです。

#### 生息状況

- ・調査範囲には、クマタカ8つがい、オオタカ1つがいの生息が確認されました。

#### 繁殖状況

- ・クマタカ6つがいが繁殖に成功し、幼鳥が1羽ずつ、計6羽の巣立ちが確認されました。
- ・そのうち、津軽ダム本体工事着工（平成20年11月）後の平成21年シーズンに新たに定着が確認されたクマタカ1つがいも繁殖に成功しました。
- ・また、平成21年シーズンに、ペアを解消したクマタカが2つのエリアに分かれてそれぞれ別の個体とつがいを形成し、そのうちのクマタカ1つがいが平成21年シーズンに繁殖に成功しましたが、平成22年シーズンにはもう片方のクマタカ1つがいも繁殖に成功しました。

	H21シーズン	H22シーズン
Aペア	繁殖成功	繁殖なし
Bペア	H21秋 つがい形成	繁殖成功

- ・さらに、既存のクマタカの巣を人工的に補修（平成19年12月）した補修巣において、クマタカ1つがいが平成20年シーズンに引き続き、平成22年シーズンも繁殖に成功しました。

### オオタカ人工巣（誘導巣）の環境改善

- ・営巣地に比較的近い工事による影響緩和策として、より離れた場所へ誘導するための人工巣（誘導巣）を平成19年及び平成21年に計6巣設置しました。
- ・これら人工巣（誘導巣）の設置高さ及び入口空間の確保策等について、委員の指導を得て検討し、営巣地環境の改善を図りました。

## 2．平成23年シーズン配慮計画と調査計画

### 【審議結果】

- ・平成23年シーズン配慮計画と調査計画について説明し、了承されました。

内容については、以下のとおりです。

- ・平成23年シーズン工事の配慮対象となるつがいは、クマタカ7つがい、オオタカ1つがいで、配慮計画は、工事時期の調整や工事照明の調整の他、工事の騒音・振動、建設機械の存在に徐々に慣れさせていくコンディショニングを実施します。
- ・平成23年シーズンの調査計画は、工事の影響に関するモニタリング調査の他、クマタカの行動圏把握のための詳細調査及び巣の位置が明らかにされていない巣の調査も実施します。
- ・猛禽類の行動圏の変化についても検討します。